

熱中症予防マニュアル

城山台小学校

熱中症事故の防止に向けて、「熱中症予防マニュアル」を提示し、学校の中での児童及び教職員の安心・安全を守る取組とする。

- ・各学舎職員室前に「熱中症リスク案内板」を設置する。
- ・朝・中間・昼・下校前に暑さ指数(WBGT※)を測定し、熱中症の危険度を案内板にて周知する。
- ・担任は、体育や外での活動時には必ず確認し、児童・教員の熱中症予防に努める。
- ・外に出る際は帽子をかぶるよう声をかける。



熱中症リスク案内板

WBGT 温度	気温 (参考)	警戒 レベル	体育(マスク無し)	外遊び	室外での活動 登下校
31℃ 以上	35℃ 以上	危険	<u>原則中止</u> (活動内容や時間を工夫して実施可)	<u>原則中止</u>	マスク無し 適宜休息・水分補給
28℃ ～ 31℃	31℃ ～ 35℃	厳重警戒	激しい運動は <u>中止</u> 頻繁に休息・水分補給	マスク無し 適宜休息・水分補給	マスク無し
25℃ ～ 28℃	28℃ ～ 31℃	警戒	激しい運動は必ず休息 適宜休息・水分補給	マスク無し	
21℃ ～ 25℃	24℃ ～ 28℃	注意	積極的に水分補給		

○体育は原則マスク無し(マスクを外せない児童の把握)

○WBGT28℃以上(厳重警戒時)は要注意 外遊び後の手洗い・水分補給
休み時間、下校時にマスクを外すよう声掛けを

○WBGT31℃以上(危険時)は、運動は原則禁止 室外での活動は要注意

(※)暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度):Wet Bulb Globe Temperature)は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。